

「この本、よかった！」(115)
『しんごつきピコリ』
作・絵 ザ・キャビンカンパニー
(あかね書房)

皆さんにもおすすめしたい
「くまどく本」、今月は、第二
聖徳幼稚園からです。

古久保 杜和(年少・りんご組)
ぼくの大好きなパトカーと
車がたくさん出てきて楽しい
よ。絵本の信号機の顔が面白
くて、ぼくは赤が一番好きで、
車は横断歩道に気を付けて
ね。毎日読んでほしいです。

古久保 葉月(母)
パトカーが信号機について
お話してくれます。赤・黄・
青でもこの絵本の中だけは3
色ではなくて次々不思議な色
に変わります。「車はどうす
るかな？」と子どもたちと交
通ルールを楽しく学べます。



(教育総務課)

ニューヨーク・スタイン
ウェイヴィンテージピアノ
開きコンサート
ピアノの詩人シヨパンを中心に

「若葉会エレガンス」主宰
として被災地支援チャリティ
コンサートや熊野町出身の作
曲家 坊田かずまの作品を紹
介するコンサートなど、全国
各地で活躍されている遠藤さ
つきさんが演奏されます。

熊野出身の姉妹デュオ
Mebiusとの伴奏もあります
ので、この機会にぜひお誘い
あわせのうえ来場ください。
時 3月25日(出)14時～15時半 終
了予定(開場13時半)

所 町民会館ふでりんホール
無料
整理券：各公民館などで3
月1日(水)から配布
定 500人(全席自由)



▲遠藤さつきさん

岡町民会館 ☎854・31111

あいさつ名人を目指して

熊野第一小学校

第一小では、「明るく いつでも先に つな
げよう」を合言葉にあいさつ名人の取組を行っ
ています。2学期からは、素敵なあいさつの
子どもたちを見つけた先生たちや委員会の6
年生が、フォームで名前を入力することで、
ポイントが貯まるあいさつ名人プロジェクト
を行っています。30ポイント貯まるとあいさ
つ名人として表彰されますが、さらにポイン
トをため続けることができ、ブロンズ、シル
バー、ゴールドといった具合にランクアップ
させることで、楽しみながらあいさつの腕を
磨いています。現在、20人以上があいさつ名
人として表彰されました。中には100ポイン
ト貯めている児童もいます。継続して行っ
ていくことで、子どもたちにもあいさつに対す
る意識が高まっているようです。第一小の子
どもたちの笑顔のあいさつをもらった際には、
ぜひとも笑顔で返していただくと嬉しいで
す。



▲多くの児童が
あいさつ名人と
して表彰されて
います。

(教育総務課)

2年生修学旅行 in 神戸・京都・大阪

熊野中学校

12月4日(日)～6日(火)、2年生が修学旅行で
神戸・京都・大阪を訪れました。
初日、「人と防災未来センター」では防災・
減災について改めて考え、「平等院」では10
円硬貨の表面にデザインされている鳳凰堂や
多くの文化財を目の当たりにしました。
2日目は京都班別研修でした。タクシーで
計画したコースを巡り、京都の歴史や文化、
自然を堪能しました。
最終日は「ユニバーサル・スタジオ・ジャ
パン (USJ)」を訪れました。ライドに乗った
り、ショーを見たり、さまざまなエリアで多
くの感動を味わいました。
3日間天候にも恵まれ、校内ではできない
体験や見学から多くのことを学ぶことができ
ました。
また、長く続くコロナ禍の中、安心と安全
を重視した旅行となるように、全ての行程を
貸し切りバスで移動したり、ホテルでの食事
は全員が同じ方向を向いてとったりするなど、
“できること”の最大限を計画しました。多く
の人の協力により有意義な修学旅行となりま
した。



▲京都の自然を堪能しまし
た。 ▲USJでの記念撮影。

(教育総務課)

熊野高校を育てる会

熊野高等学校

この地に (322)

熊野が育てる
会が育てる

昨年末の12月22日(木)、新型コロナウィルス
感染症の影響により中止していた「熊野高校
を育てる会大会」を3年ぶりに開催しました。
今年度は本校出身の姉妹デュオ、Mebius (メ
ビウス) によるライブパフォーマンスを実施
しました。DJ大窪シゲキさんがMCを務めて
くださり、歌あり、笑いあいの楽しいライブ
となりました。
Mebiusのお二人からは、テーマである「自
分らしく」について、「やりたいことは口に出
した方がいい。」「勇気を出して自分が好きな
ことを突き詰めてほしい。」と後輩への激励の
言葉をいただきました。生徒インタビューで
は、自分の大きな夢を話す生徒もいて、これ
からの高校生活をどう過ごしていくかを考え
る時間となりました。
3年生はいよいよ卒業、その他の学年は一
つ上の学年となり、先輩として活躍すること
になります。



▲Mebiusによるライブパフォーマンス。

熊野高等学校 ☎854-4155

人権と わたし 犯罪被害に遭われた人の人権

犯罪被害に遭われた人やその家族、遺族
は、犯罪の直接的な被害だけではなく、精神的
ショックや経済的困窮、周囲の配慮のない対応
など、さまざまな問題に苦しめられています。
また、被害に遭った直後で気持ちが動転し
ている時、信頼できる周囲の人の支えが大き
な助けになります。ただし、そっとしておい
てほしい被害者もいます。
私たちにできることを探してみましょう。

もしも被害に遭ったら

犯罪被害に対する相談窓口があります。
■公益社団法人広島被害者支援センター
犯罪被害者などのサポートを行っています。
☎544-1110 月～土曜日9:00～17:00
(祝日、年末年始、8月13日～16日除く)

性被害ワンストップセンターひろしま

性被害に遭われた人がプライバシーを守ら
れながら、電話相談や面接相談を受けること
ができます。また、医療措置(緊急避妊薬投
与、性感染症検査等)や心理カウンセリング、
法律相談を希望により受けられます。(これら
に対する公費負担制度もあります)
☎298-7878 (24時間年中無休)

広島県警察

今後の対処方法についてのアドバイスや情
報提供をしています。
警察安全相談電話
☎228-9110 (または#9110)
月～金曜日8:30～17:15
性犯罪相談電話
☎222-1989 (または#8103)
月～金曜日8:30～17:15

出典…人権啓発冊子『「気づき」から「きずな」へ』
(令和4年2月広島県発行)

(生活環境課)